

VMware vRealize Log Insight

インフラストラクチャとアプリケーションのインテリジェントなログ管理

概要

VMware vRealize® Log Insight™ は、異種混在環境に対応する拡張性に優れたログ管理機能を提供します。直感的で実用的なダッシュボード、洗練された分析機能、幅広いサードパーティ製品に対応する拡張性を備えており、運用に関する詳細情報を確認できるため、迅速なトラブルシューティングが可能です。

主なメリット

- **トラブルシューティングと根本原因の分析を秒単位のスピードで実行できます。** VMware が行った最新の内部テストでは、数テラバイトのデータに対するクエリテストを実施したところ、主要なソリューションと比較して3倍高速であることがわかりました。
- **直感的で使いやすいグラフィカルインターフェイスを備えており、シンプルな対話式的検索や、詳細な解析クエリを実行できます。**
- **物理、仮想、クラウド環境にわたって拡張可能なため、管理者は、オペレーティングシステム、アプリケーション、ストレージ、ネットワークデバイスなど、環境内のすべての要素に接続でき、ログの収集、格納、分析を1か所で大規模に実行できます。**
- **VMware vSphere® のナレッジとネイティブサポートが組み込まれており、VMware 環境に最適化されたソリューションです。**

ビジネス上のメリット

- **データ量に制限がない予測可能な価格モデルを採用しており、ピーク時の使用量やもっとも厳しいシナリオを想定してライセンスを購入する必要がありません。**
- **運用コストを削減し、運用効率を向上させます。** トラブルシューティング時間の大幅な短縮、平均修復時間(MTTR)の改善、マニュアル作業の低減、アラートの自動化によって、システムの停止やダウンタイムを回避します。
- **投資回収率(ROI)と価値を最大化します。** ログ分析と運用管理における最高クラスのツールである vRealize Log Insight と vRealize Operations™ を併用することで、包括的な運用管理が可能です。

ビジネス上の課題

物理、仮想、クラウド環境にわたってインフラストラクチャとアプリケーションを展開するにつれて、マシンが生成するデータ量が急激に増加している一方で、膨大なデータが分散していることからデータ分析が非常に困難になっています。Log Insight は、あらゆるログデータを分析できる機能を備えており、物理、仮想、マルチクラウド環境全体で、予測分析、機械学習、根本原因分析のツールを使用することにより、これらすべての課題を迅速に解決します。

従来のログ管理ツールの問題点

従来のログ管理ツールは、次のような理由で、仮想環境やハイブリッドクラウドのような動的な環境には適していません。

- **マシンが生成するログデータは膨大で、取得や管理が困難なため、従来のツールでは、ログやマシンのその他のデータを戦略的に活用して、ITインフラストラクチャの問題分析やトラブルシューティングを行うことはできません。**
- **仮想インフラストラクチャと物理インフラストラクチャを別々に管理すると、責任の所在があいまいになり、混乱が生じてしまいます。**
- **ほかのログ管理ソリューションを vSphere 環境で使用するには、新たにソフトウェアの追加が必要になる場合があります。また、常に最新のバージョンがサポートされているとは限りません。**

ソリューションの概要

VMware vRealize Log Insight はこれらの課題に対処し、サービス品質(QoS)と運用効率を向上させ、迅速な根本原因の分析を可能にします。



図 1: Log Insight では、オペレーティングシステム、アプリケーション、ストレージ、ネットワークデバイスなどから、構造化されていないデータの収集、保存、分析を1か所で大規模に実行できます。

vRealize Log Insight の主な機能

- VMware vRealize Operations との連携により、構造化されていないデータと構造化されたデータを集約でき、エンドツーエンドの運用管理機能が向上します。
- VMware Solution Exchange で、VMware およびサードパーティ製の拡張機能を提供しています。
- vSphere、VMware Horizon®、vRealize Operations、vRealize Automation™ など、VMware のほかの製品の情報が組み込まれています。
- マシンが生成するあらゆる種類のログ データを収集して分析します。これには、アプリケーション ログ、ネットワーク トレース、構成ファイル、メッセージ、パフォーマンス データ、システム状態のダンプファイルなどが含まれます。
- 可用性に優れており、ビッグデータを処理できるように設計されています。
- データは自動的に最適な形式で可視化されるため、時間を節約できます。
- アラートの自動化によって、潜在的な問題が顕在化する前に問題を特定および追跡します。
- 構造化されていないログ データを構造化することで、管理者は、データを事前に把握していなくても迅速にトラブルシューティングを行うことができます。
- リアルタイムの監視、検索、およびログ分析機能と、ダッシュボードを使用したクエリの保存、レポート作成、アラート機能を併用することで、IT 環境全体でイベントの関連付けを行うことができます。
- 機械学習ベースのインテリジェントなグループ化機能によって関連するデータがグループ化されるため、高性能な検索が可能になり、物理、仮想、クラウドの環境全体にわたって迅速なトラブルシューティングを実行できます。

詳細情報

vRealize Log Insight の詳細情報については、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.vmware.com/jp/products/vrealize-log-insight/>

VMware 製品のご購入または詳細情報については、製品 Web サイトをご覧ください。

<http://www.vmware.com/jp/products>

vRealize Log Insight			
主な機能			
VMware vRealize Log Insight のエディション	VMware vRealize Log Insight for vCenter Server Standard	vRealize Log Insight for NSX (*)	フルバージョンの VMware vRealize Log Insight
Log Insight が含まれる VMware 製品	vCenter Server™ Standard で使用できる 25 OSI	1 CPU の NSX = 1 CPU の制限付き vRealize Log Insight for NSX	単体製品の vRealize Log Insight、vRealize 7 以降、vCloud Suite 7 以降
プラットフォーム			
ダッシュボード	○	○	○
カスタム ダッシュボード	○	○	○
インタラクティブな分析機能	○	○	○
vSphere との連携 (vCenter Server、ESXi から収集)	○	○	○
vRealize Operations との連携	○	○	○
アラート	○	○	○
機械学習/分析	○	○	○
Active Directory との連携	○	○	○
エージェント	○	○	○
ロールベースのアクセスコントロール	○	○	○
クエリ API	○	○	○
お客様の使用環境向上プログラムへの参加		○	○
高度な機能			
クラスタリング		○	○
高可用性		○	○
イベント転送		○	○
アーカイブ		○	○
コンテンツ パック			
コンテンツ パックのマーケットプレイス	○	○	○
VMware コンテンツ パック	○	○	○
カスタムのコンテンツ パックのインポート		○	○
サードパーティ製 コンテンツ パック		○	○

* Log Insight のすべての機能を使用できますが、エンド ユーザー使用許諾契約書 (EULA) により、vSphere と NSX のイベントに限定されます。Log Insight のライセンスは、vSphere と NSX-V のコンテンツ パックに対してのみ有効です。
 サードパーティ製コンテンツ パック: サードパーティ製コンテンツ パックと拡張機能の一覧については、
<https://solutionexchange.vmware.com/store> を参照してください。

